

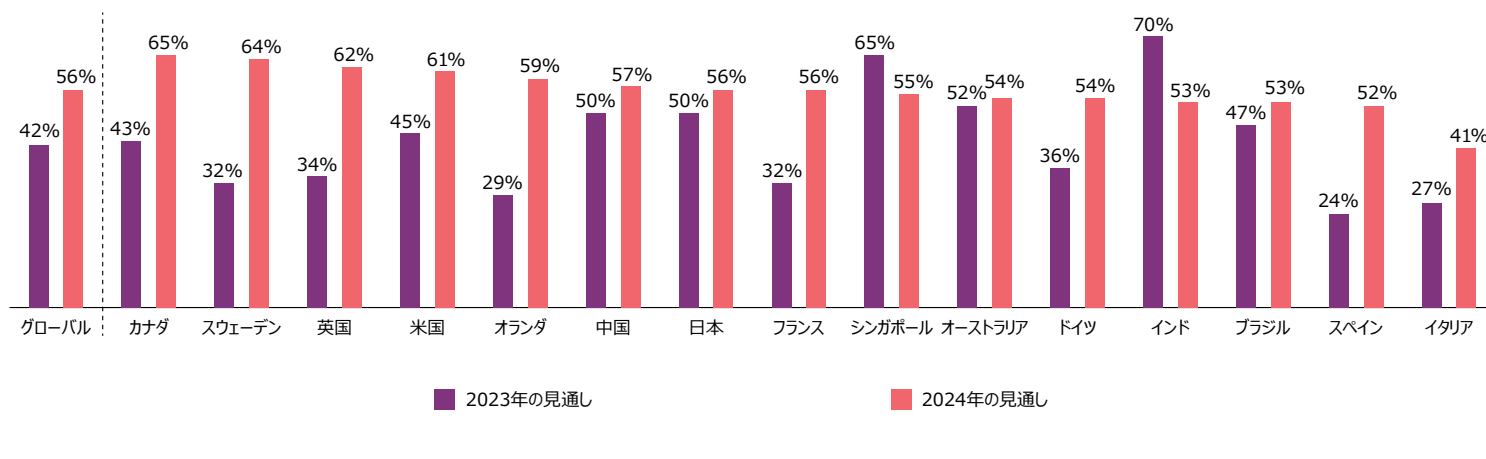
さらに輝ける未来へ

2024年の投資優先事項

ビジネスリーダーは楽観視を強めており、主要領域への投資を強化しています

昨年よりも多くのビジネスリーダーが、組織の業績を楽観視しています

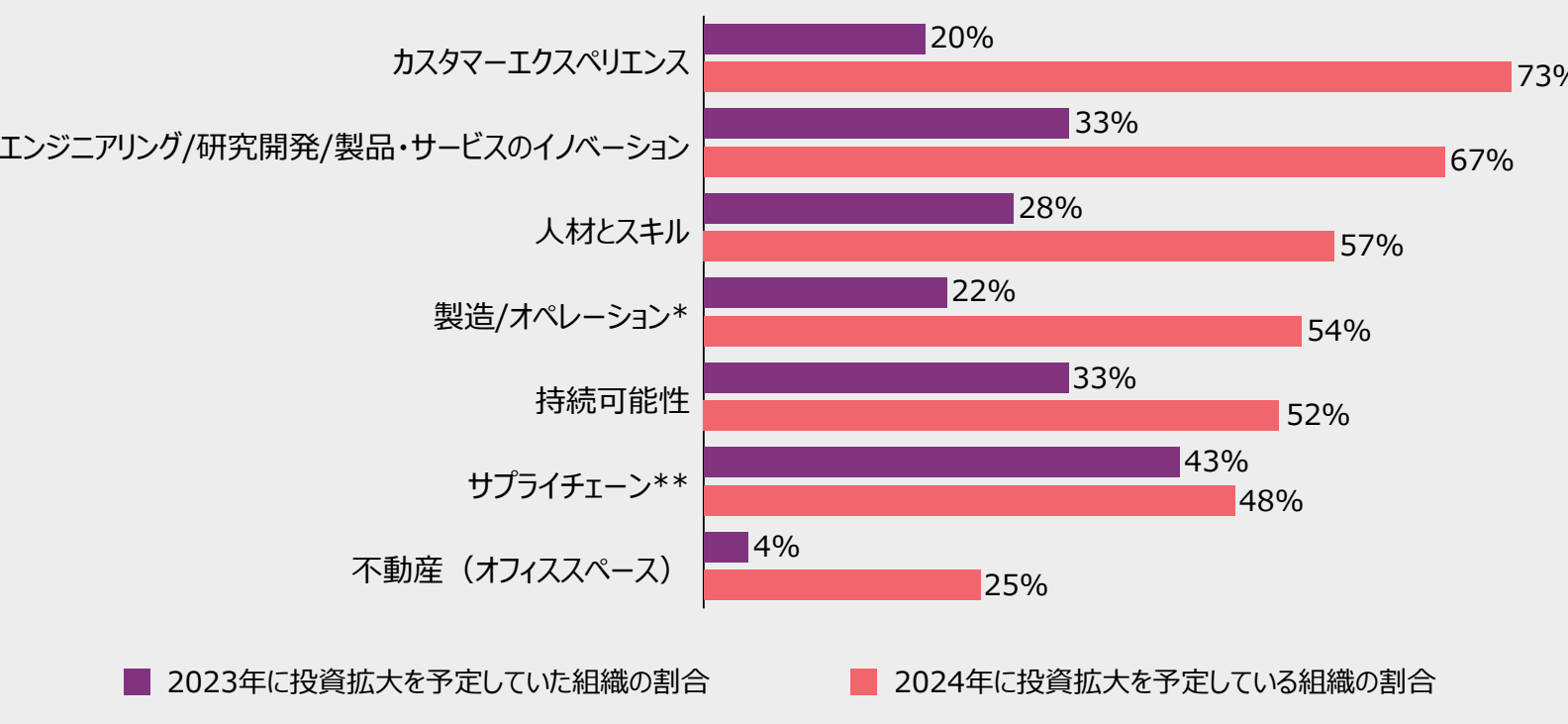
組織の見通しを楽観視しているビジネスリーダーの割合、本業のある国別



出典：キャップジェミニ・リサーチ・インスティテュート、Global Investment Research Edition 2、2023年11月、N=2,000（ビジネスリーダー）。
キャップジェミニ・リサーチ・インスティテュート、Global Investment Research Edition 1、2022年11月、N=2,000（ビジネスリーダー）。

この楽観視を受け、2024年はさまざまな領域で投資拡大が予定されています

各領域への投資拡大を予定しているビジネスリーダーの割合

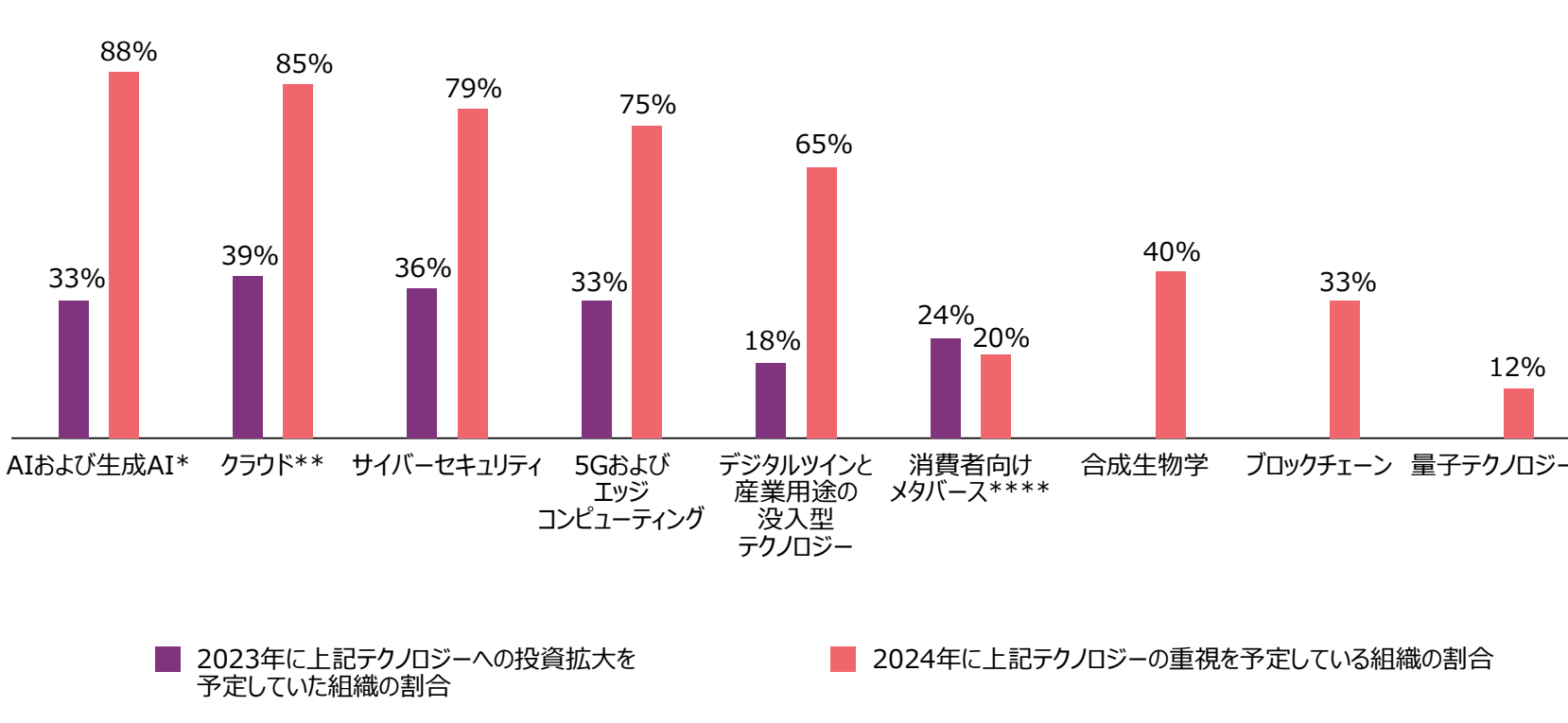


*製造会社のみ、N=1,087（ビジネスリーダー）。**サプライチェーンネットワークを持つ組織のみ、N=1,407（ビジネスリーダー）。

出典：キャップジェミニ・リサーチ・インスティテュート、Global Investment Research Edition 2、2023年11月、N=2,000（ビジネスリーダー）。
キャップジェミニ・リサーチ・インスティテュート、Global Investment Research Edition 1、2022年11月、N=2,000（ビジネスリーダー）。

2024年は10社中8社がデジタル投資を拡大予定、大部分はAI/生成AI、クラウド、サイバーセキュリティを重視しています

各デジタルツールおよびテクノロジーを重視するビジネスリーダーの割合



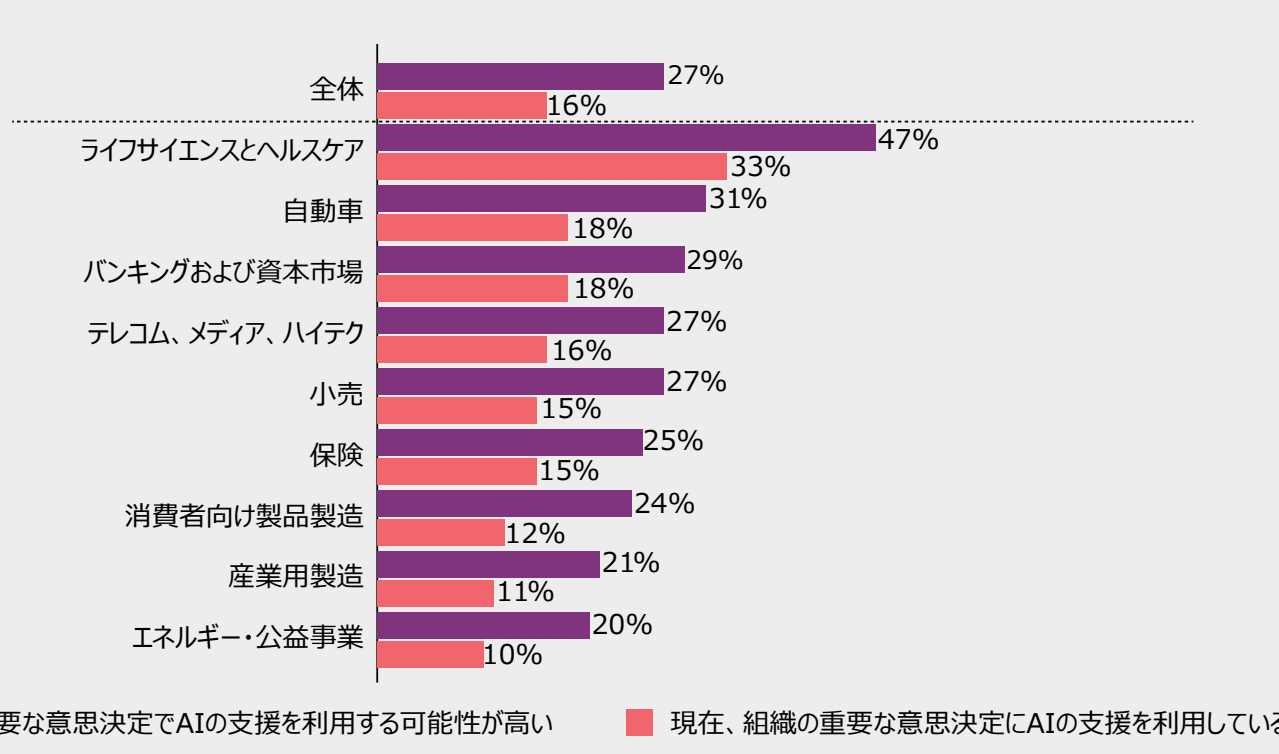
注記：* Research Edition 1の「Intelligent automation（AI/ML/cognitive technologies etc.）（インテリジェントオートメーション（AI/ML/コグニティブテクノロジーなど）」のデータ。 ** Research Edition 1の「IT infrastructure and Cloud（ITインフラストラクチャおよびクラウド）」のデータ。 *** Research Edition 1の「operational technologies such as digital twins, automation, operational visibility, etc.（デジタルツイン、オートメーション、オペレーションの可視性などのオペレーションテクノロジー）」のデータ。 **** Research Edition 1の「Immersive tech such as metaverse, web 3.0, etc.（メタバース、Web 3.0などの没入型テクノロジー）」のデータ。

Research Edition 1では、合成生物学、ブロックチェーン、量子テクノロジーに関する質問はありません。

出典：キャップジェミニ・リサーチ・インスティテュート、Global Investment Research Edition 2、2023年11月、N=2,000（ビジネスリーダー）。
キャップジェミニ・リサーチ・インスティテュート、Global Investment Research Edition 1、2022年11月、N=2,000（ビジネスリーダー）。

重要な意思決定においてAIが果たす役割がさらに大きくなります

重要な意思決定にAIの支援を利用する割合（現在と5年後、業種別）



出典：キャップジェミニ・リサーチ・インスティテュート、Global Investment Research Edition 2、2023年11月、N=2,000（ビジネスリーダー）。

57%

イノベーションと新しい収入源に関して、生成AIは計り知れないチャンスをもたらすと考えるビジネスリーダーの割合

56%

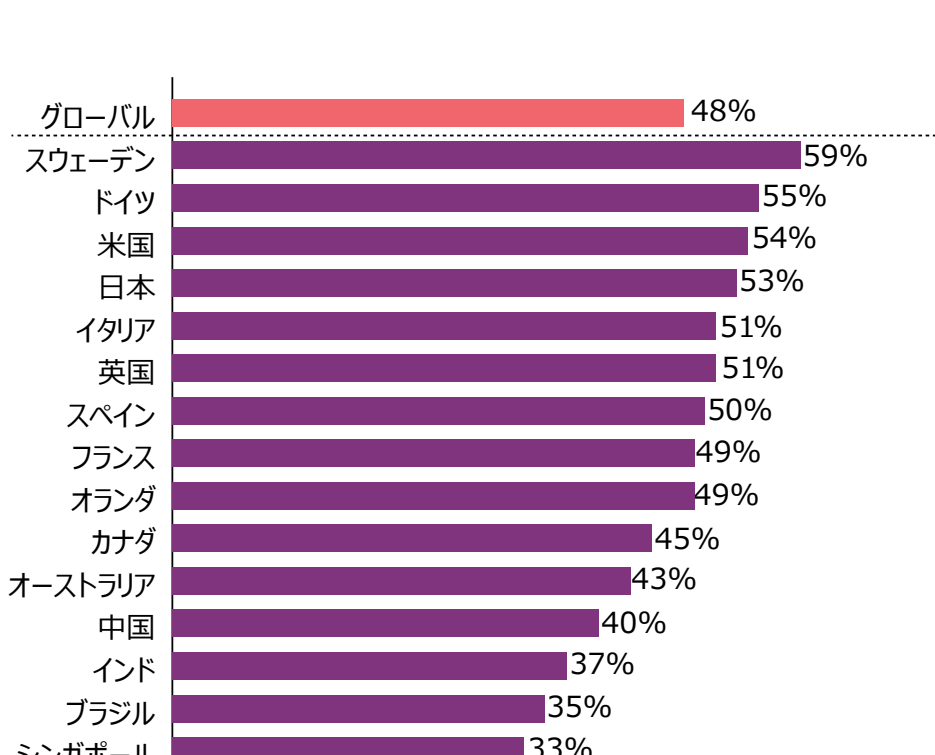
生成AIについて、人間が中心となり、人間が補う手法を重視するビジネスリーダーの割合

61%

AIの規制に向けたEUの取り組みが不透明感を緩和すると考える組織の割合

気候変動は人類の存続に関わる脅威であり、組織による対処が必要です

今後10年間のオペレーション上の混乱の大部分は、気候変動が原因になると述べるビジネスリーダーの割合（組織の本部がある国別）



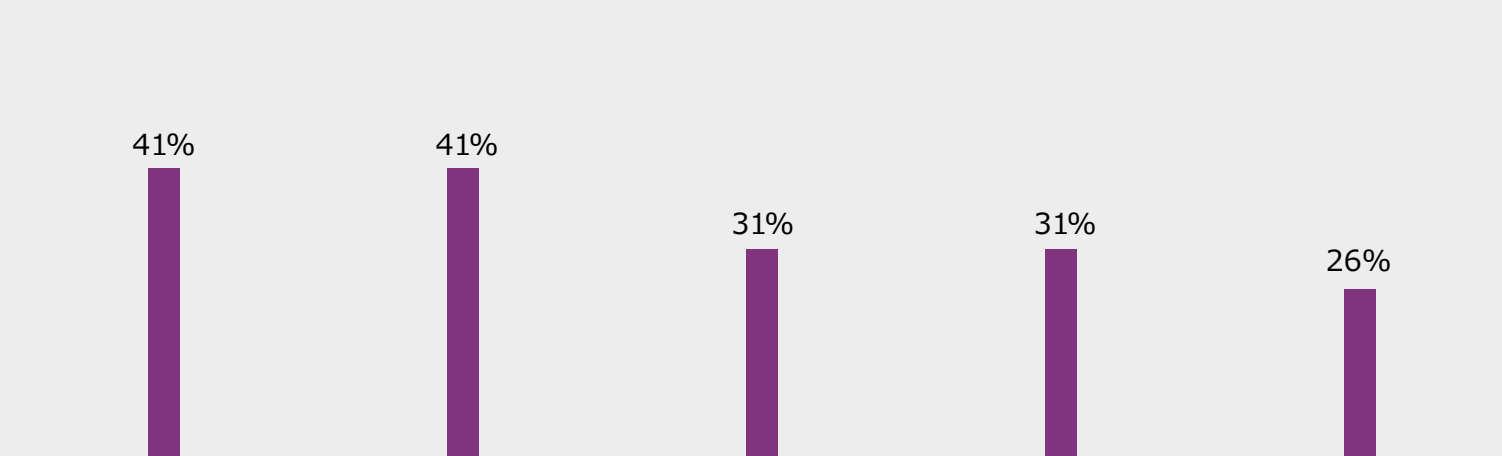
出典：キャップジェミニ・リサーチ・インスティテュート、Global Investment Research Edition 2、2023年11月、N=2,000（ビジネスリーダー）。

持続可能性とクリーンテクノロジーへの投資を促すのは経済的動機です

組織は、マクロ経済成長の枠組みを疑問視し始めています

ビジネスリーダーは今なお、サプライチェーンを深刻な脆弱性を含む領域と見なしています

各領域のリスクに対する脆弱性が極めて高いと回答したビジネスリーダーの割合



*サプライチェーンネットワークを持つ組織のみが対象の質問。

出典：キャップジェミニ・リサーチ・インスティテュート、Global Investment Research Edition 2、2023年11月、N=2,000（ビジネスリーダー）、N=1,407（サプライチェーンネットワークを持つ組織のビジネスリーダー）。

49%

中国への依存を低減するために別の新興経済に投資している組織の割合

45%

調達/製造のかなりの部分でフレンドシップリングを利用する予定だと回答したビジネスリーダーの割合

レポートのダウンロード

レポート購読の登録